



アストのなっとく講座 ～世界に誇る! 日本の健康保険制度をおさらい編～


 寿寿 (じゅじゅ)・・・しっかり者のお姉さん猫
 はっぱ・・・わがまま、気まぐれな妹猫


 4月は新生活の季節ね。もう慣れてきたかしら?


 あたちは最近、やっと忍者修業を始めたわね。でも、まだまだ。もっと高めないと・・・あたちも結構忙しいのよ、そうなのよ。


 ...ちょっと意味がワカラナイけど。猫には、人間の皆さんとは違う忙しさがあつたりするのは事実ね。ぜひお近くの猫ちゃんに聞いてみてくださいにゃ。ただ、人間の皆さん・・・というか、日本人の皆さんは、とっても恵まれているんですよ?


 日本人限定?なんで?

 何故かって、それは「国民皆保険制度」があるから! 海外は、医療機関へのアクセス、医療費の決め方など、いろいろが日本とは異なった仕組みとなっているの。先進国であっても、民間保険中心の制度や無保険の国民がいる国、結構あるのよ。気軽に病院へ行けないって、とっても大変。

 そうなんだ・・・当たり前の健康保険。でも、これって結構すごいね!

 ただ、日本でも1955年(昭和30年ごろ)は、国民の三分の一が無保険、つまり「保険なし」の状態だったの。おじいちゃんおばあちゃんが産まれた頃は、実は国民の全員が健康保険に入っている訳ではなかった。って、ちょっとびっくりじゃない? その後、1958年に国民健康保険法が制定。「だれでも」「いつでも」「どこでも」保険医療を受けられるようになったの。この日本の公的医療制度は、世界保健機関(WHO)から「世界一」と高く評価されているわ。


 すごー!日本が世界トップクラスの長寿国なのも、乳児死亡率が世界一低い国だってことも、この世界に誇れる制度のお陰ってわけね!


 お勤めている皆さんが、病院の窓口で支払う金額は、かかった医療費の3割。残りの7割は、皆さんとお勤め先の会社さんが納める健康保険料から。お給料明細の中にある「健康保険料」で、医療費の支払い・健康保持増進・高齢者の医療費が支えられているの。


 なんかいいわね、助け合い!!みんな、ありがとにゃ!

 ただ、この素晴らしい助け合い制度・・・実は今、かなり

のピンチを迎えているんですって。医療費の総額は、毎年1兆円を超えるペースで増え続けているの。

 1兆円って・・・てか1兆円がもはやいくらなのか、もうよくわかんないんだけど。
あ、1兆円は1兆円か。んもう、目が回るにゃ。

 原因は、ご存知「超高齢化社会」!
1兆円以上に増えている医療費、この6割が高齢者の医療費なんだとか。
現役世代が高齢者医療を支える制度は、既に限界を超えていると言ってもいいわ。
それでも、今後も負担は増え続けると言われているの。
そんな訳で!医療費がかからない世の中を目指して、健康づくりにしっかり取り組んでみて欲しいのです。

 みんなも健康づくり、しっかり考えてみてにゃー!

アストのほけん ☎ 0120-57-2760

長野県諏訪市南町10-5 ■定休日/日曜日・祝日 ■営業時間/10:00～19:00
E-mail:ast@view.ocn.ne.jp HP:https://astnohoken.com/